公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/
隊友 web 版は右２次元コードからアクセスできます。
（6月30日まで）

隊友

令和６年４月15日
第840号　毎月１回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03 (5362) 4871・FAX4876
購読料　１カ月 120円（税込み送料別）、
１カ年 1,700円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

元気のある支部
投稿募集
8面に詳細

令和６年度 事業開始

隊友会は3月26日、定例理事会を開催し、「令和6年度事業計画」を決議した。年度事業計画は「国民と自衛隊とのかけ橋」という隊友会の目的を達成するための、方針、実施要領及び主要着眼事項並びに主要な事業予定を示すものであり、作成に当たっては、各県隊友会に事業計画案を意見照会し、本部と各県隊友会が一体となり作成している。

本年は、戦略3文書に基づく防衛力抜本的強化5カ年計画の2年目であり、隊友会には「国民と自衛隊とのかけ橋としてわが国の平和と安全に寄与する」ことが益々求められる年度であること、及びアフターコロナ時代に適合した活動を求められる年度であることを踏まえ、公益目的事業、特に隊員家族支援に係る連携強化施策への協力及び新型コロナウイルス禍で低調化した事業を充実・強化することにより会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業等の強化により会基盤の充実を図ること、この際、会員の福利と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努めるとともに、アフターコロナ時代に適合した活動に留意することが方針として示された。

新たに追加した主要事項として、これまで各幕と締結してきた「隊員家族支援に係る協定」を防衛省・自衛隊と速やかに締結すること、陸上自衛隊方面総監部、海上自衛隊地方総監部及び航空自衛隊航空方面隊司令部に連絡調整業務を行う要員を公募により新たに配置されることから、積極的に適任会員を参加させることなどが盛り込まれた。

沖縄県隊友会が激励

派遣海賊対処行動航空隊要員が出国

3月5日、海上自衛隊那覇基地において海自第5航空群を基幹とする第54次派遣海賊対処行動航空隊（司令・澤畑裕太2等海佐）の出国式が行われた。

式典には、第5航空群の隊員や派遣隊員のご家族・協力団体約80名（沖縄県隊友会6名）が参加、派遣される約60名の隊員を盛大に見送った。隊員はこの後那覇空港からチャーター便で出国した。

活動地での情勢が厳しさを増す中、派遣隊員の中には小さな子供を持つ女性隊員もおり、出発前に我が子を抱きしめる姿に、参加者一同、只々、任務を完遂されて無事の帰国を祈るばかりだった。

出国に先立つ3月1日、沖縄県隊友会（会長・平田喜彦）は、第5航空群を訪問・激励し、会長から澤畑派遣海賊対処行動航空隊司令へ激励品の贈呈を行った。

（事務局長・清敏洋）

激励品の贈呈を行う平田会長

隊員を見送る式典参加者

隊友会が後援

全日本短剣道及び全自拳法大会が開催

隊友会が後援する全日本短剣道大会が2月に、全自衛隊拳法選手権大会が3月に開催された。なお拳法選手権大会における隊友会賞は敢闘賞4個チームに贈られた。（写真は各連盟提供）

第23回 全日本短剣道大会

主催：全日本銃剣道連盟

競技は2月11日、日本武道館において行われ、団体戦では成年の部77個チーム、女子の部13個チーム及び高校生の部10個チームが、個人戦では成年の部231名、女子の部49名及び高校生31名が競い合った。

団体戦及び個人戦の優勝チームと優勝者は左表のとおり。また、大会結果の詳細は連盟ホームページに掲示されている（上記2次元コード）。

【短剣道】団体戦・成年の部決勝

団体戦	成年の部	普通科教導連隊A（静岡）
	女子の部	福岡桜組（福岡）
	高校生の部	勝田工業高校A（茨城）
個人戦	成年Aの部（35才以下）	関澤良太（18普連・北海道）
	成年Bの部（36～50才）	長谷川英昭（茨城県選抜）
	成年Cの部（51才以上）	鈴木利広（栃木県選抜）
	女子の部	山口あや子（郡山・福島）
	高校生の部	及川瑛士（勝田工業高校・茨城）

第39回全自衛隊拳法選手権大会

主催：全自衛隊拳法連盟

競技は3月9日、10日、航空自衛隊入間基地体育館において、団体戦53個チームが、個人戦では重量別5個階級250名と女子39名が競い合った。

団体戦では、普通科教導連隊が平成17年の優勝以来、19年ぶり2回目の優勝を果たした。また、海上自衛隊から、10年ぶりに選手が参加、女子個人戦には、史上最多の39名がエントリーした。

結果は次のとおり。

○団体戦

優勝：普通科教導連隊（静岡・滝ケ原）、準優勝：第32普通科連隊（埼玉・大宮）、第3位：第41普通科連隊（大分・別府）、第20普通科連隊（山形・神町）、敢闘賞：第13普通科連隊（長野・松本）、第1普通科連隊（東京・練馬）、第8後方支援連隊（熊本・北熊本）、第34普通科連隊（静岡・板妻）

○個人戦優勝者

66kg級：川崎選手（8後支・北熊本）△73kg級：清水選手（35普連・守山）△81kg級：山崎選手（1普連・練馬）△90kg級：麓選手（35普連・守山）△無差別級：千田選手（20普連・神町）女子：新村選手（西方特連・北熊本）

【拳法】73Kg 以下級決勝戦

発煙筒

不易流行

江戸時代前期の俳句の大家である松尾芭蕉の言葉「不易流行」は、俳句を深く知らない私でも、非常に心に残るものである。これは、「不易すなわち、変えてはならない伝統やしきたりを知らなければ、基礎が成り立たない。しかし、流行すなわち、時代の変化に沿った新しさも知らなければ、新たなものは生まれない」という意味である。

私は、約5年間の隊友会常務執行役・理事としての活動を通じて隊友会の「不易流行」とは何かを考えてきた。

隊友会は、同じ目的と理想を持つ退職自衛隊員で構成された各地の43個団体が大同団結し昭和35年12月に発足した。それ以来、国民と自衛隊とのかけ橋として、我が国の平和と安全に寄与するための活動と自衛隊退職者等の福祉を増進するための活動を行っている。この間、自衛隊が存在することだけを求められた厳しい時代には、現職隊員を支えつつ自衛隊・防衛問題に関心のない国民の防衛意識の高揚を図る活動に力を注ぎ、自衛隊の認知度と自衛隊への期待度が高まった時代には、国の防衛及び防災施策、慰霊顕彰事業並びに地域社会の健全な発展に貢献する活動へと軸足を移してきた。

隊友会の生い立ちと活動の歴史から、自衛隊のよき理解者である隊友会が国民と自衛隊とのかけ橋としての役割を積極的に果たすことは、当然の責務であり、環境の変化にも左右されない「不易」のものであると言える。

一方、隊友会の活動を実質的に担う正会員が平成14年度の14万人をピークに減少の一途をたどり、また、現職自衛官の定年延長、年金受給年齢の引き上げ等により会員の高齢化が進み、隊友会の活動への影響が懸念される。

そんな中、新たに策定された安保3文書に、国全体の防衛体制を強化する策として隊友会等関係団体との連携強化、退職自衛官等の活用拡大などが明記された。今後も隊友会がこれらの期待に柔軟かつ的確に応えていくためには、我々の組織、活動内容・要領等を「流行」のものと捉えて不断の見直しを行うことが必要である。

この「不易流行」が言うは易く行うは難しであることは重々承知している。他方、日本には「不易流行」を見極め100年以上も続く老舗企業が約3.7万社も存在し、世界の創業100年以上の企業総数の5割を占めている。この事実を踏まえると老舗企業に並び隊友会が100年以上充実・発展し続けることは可能であると信じる。

引き続き、老舗企業が大切にしていることの一つに学び隊友会内のコミュニケーションを充実し、会員の共感を得ながら「不易」の中に「流行」を取り入れていきたい。

（理事　山之上哲郎）

隊友会

引越見積支援サービス

令和５年度　５千件に迫る

令和2年7月から始まった引越見積支援サービスは、各駐屯地・基地共済支部へのチラシ等の送付、隊員間への浸透、各県隊友会の活動もあり、堅調に増加推移し、今年度の利用は5千件近くとなっている。

令和5年4月から11月までの利用者に行ったアンケートでは「満足」または「やや満足」が90%を超え、選ばれた理由としては、

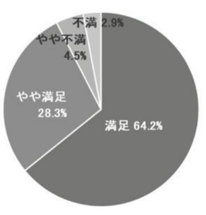
◎多数の引越会社からの電話で煩わしくない。
◎OBならではのアドバイス・フォローが受けられる。
◎利用者の意見を反映したサービスの向上

などがある。

しかしながら、事業立上げ当初の提携企業3社態勢から5社態勢を経て、昨年10月からは7社態勢で事業を行っているが、繁忙期に3社見積が取れなかったという不満も聞かれた。

今後さらに提携企業、各県隊友会と連携して取得率の向上を図る等、利便性を高めていきたい。

満足度 90％超



サービスに対する満足度

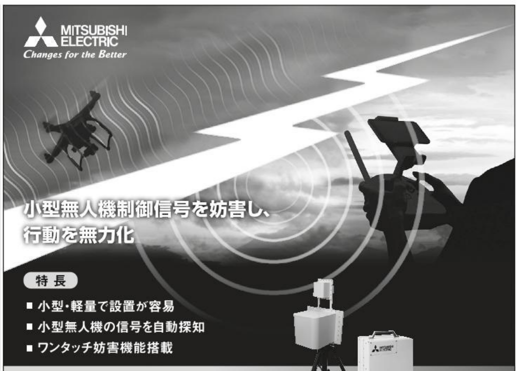
隊友会 寄付者芳名

滋賀県特別会員	
奥村直広 様	5千円
陸上自衛隊	
吉田壮介 様	1万円
豊田　真 様	1万円
竹本竜司 様	2万円
山下博二 様	1万円
海上自衛隊	
小座間善隆 様	2万円
自衛隊中央病院	
村上健彦 様	2万円

（順不同、三月三十一日現在）

止まらない社会。
止まらない暮らし。
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。
\Orchestrating a brighter world　NEC

F-2 戦闘機
InteRSePT
サイバーセキュリティシステム
SH-60K 哨戒ヘリコプタ
12SSM 12式地対艦誘導弾
16式機動戦闘車
自律型水中航走式機雷探知機 OZZ-5
潜水艦「たいげい」
護衛艦「もがみ」
H-IIA ロケット
三菱重工
三菱重工業株式会社　www.mhi.com/jp
MOVE THE WORLD FORW>RD　MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP


MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better
小型無人機制御信号を妨害し、
行動を無力化
特長
- 小型・軽量で設置が容易
- 小型無人機の信号を自動探知
- ワンタッチ妨害機能搭載
電波探知妨害装置
お問い合わせ先
三菱電機株式会社　防衛システム事業部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号（東京ビル）
Defense-systems-div.support@ny.MitsubishiElectric.co.jp
www.MitsubishiElectric.co.jp　三菱電機株式会社